16. 保証とアフターサービス （必ずお読みください。）

■保証について

● この製品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

● 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

● 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

■補修用性能部品の保有期間について

ドアビジョンの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後７年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。

■転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

■アフターサービスなどでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か別紙（黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」）のご相談窓口にお問い合わせください。

お客様メモ：サービスを依頼されるとき、お役にたちます。

購入店名：　　　　　　　　電話

ご購入年月日：平成　　年　　月　　日

ーメモー

株式会社 日立製作所
〒105−8430 東京都港区西新橋2−15−12
TEL(03)3502−2111

No.269

HITACHI

日立 増設タイプ ハンズフリードアビジョン

形名
VK-M70 （モニター親機 カメラ付玄関子機 セット）
VK-M70PP （増設用モニター親機）

取扱説明書

ご使用の前にこの「取扱説明書」および別冊の「取付説明書」をよくお読みください。

このたびは、日立増設タイプ･ハンズフリードアビジョンをお求めいただきまことにありがとうございました。
この「取扱説明書」および別冊の「取付説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保管してください。

VK-M70は、モニター親機VK-M70Hとカメラ付玄関子機VK-M70Kの組み合せです。

モニター親機 VK-M70H
増設用モニター親機 VK-M70PP

カメラ付玄関子機
VK-M70K

目次

ページ

1. 安全に正しくお使いいただくために 2
2. 安全上のご注意 2
3. ご使用の前に 4
4. 使用上のご注意 4
5. お手入れについて 4
6. システム例 5
7. 特長 6
8. 機能一覧表 7
9. 各部の名称とはたらき 8
10. 操作のしかた 9
　10.1 1世帯住宅の場合
　10.2 2世帯住宅の場合
　10.3 室内間呼出を個別呼出にした場合
11. さらに便利な使いかた 14
　11.1 玄関先から室内の家族に呼びかけたい時
　11.2 留守コールを使いたい時
　11.3 その他の機能、操作のしかた
12. メニュー画面の設定のしかた 15
　12.1 メニュー画面の開きかたと閉じかた
　12.2 モードAメニューでの設定のしかた
　12.3 モードBメニューでの設定のしかた
　12.4 モードCメニューでの設定のしかた
　12.5 メニュー画面一覧表
13. 知っていると便利な表示 26
14. 故障かな？と考える前に 26
15. 仕様 27
16. 保証とアフターサービス（必ずお読みください。）.. 裏表紙

1. 安全に正しくお使いいただくために

絵表示について　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は必ず実行していただかなければならない内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

2. 安全上のご注意

⚠警告

内容	絵表示
本機のカバーや裏ぶたを外したり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。	分解禁止
表示された電源電圧（AC100V）以外の電源で使用しないでください。火災・感電の原因となります。	⃠
電源プラグを接続する前に、誤配線、ショート等がないことを確認してください。火災・感電の原因となります。	⚠
万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。	⚠ プラグをコンセントから抜くこと
通風孔（開口部）をふさいだり、内部に金属類を差し込んだり、落としたり、衝撃を与えないでください。故障、火災、感電の原因となります。	⃠
濡れた手で本機を操作したり、電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。	⃠
● 親機に液体（水、ジュース、薬品等）をかけたり、ぬらさないようにしてください。万一、水などが入った場合は電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ● 親機は、雨水がかかる場所に設置しないでください。感電・漏電の原因となります。	水ぬれ禁止

⚠警告

内容	絵表示
● 電源コードを傷つけたり加工したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。また、重いものを乗せたり、加熱したり、強く引っ張ったりしないでください。 ● 電源コードはたばねて使用しないでください。発熱し、火災・感電の原因となります。 ● 電源コードが傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ● 電源プラグの刃および刃の付近にほこりなどがたまると、湿度が高いとき感電や火災の原因になります。1年に1回ぐらいほこりをとってください。	⃠
● 電源を接続した状態で配線、取付け、結線工事をしないでください。感電の原因となります。 ● 電源の配線工事には電気工事士等の資格が必要です。無資格者の工事は火災・感電の原因となることがあります。 ● 親機・子機間の通信線は、電源線から離して設置してください。お互いの線が接触した場合、火災・感電の原因となることがあります。	⃠
本機を以下のような場所に設置しないでください。火災・感電の原因となります。 ● 暖房器具の近くなど、温度が上昇する所 ● 風呂場の中や洗濯機、加湿器の近くなど湿気の多い所 ● 冷凍倉庫内、クーラーの正面などの温度が低い所 ● 調理台の近くなど油煙や湯気のあたる所	⃠

⚠注意

内容	絵表示
本機を壁に取付ける場合は、肩などの身体が容易に触れない場所を選んでください。けがの原因となることがあります。	⃠
本機のモニター部に力を加えないでください。破損するとけがの原因となることがあります。	⃠
● 電源プラグを抜くときは、コードを引張らないで必ずプラグを持って抜いてください。コードの被覆が傷ついて火災・感電の原因となることがあります。 ● 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。 ● 電源プラグは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気店にコンセントの交換を依頼してください。	⃠ ● ⃠
雷が鳴りだしたら、使用を中止してください。感電の原因となることがあります。	⃠
振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	⃠
旅行などで長期間（1ケ月以上）、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	プラグをコンセントから抜くこと

3. ご使用の前に

- 本機は、表玄関に加えて勝手口やガレージなども音と映像で確認できる増設タイプ・ハンズフリードアビジョンです。増設用モニター親機は4台まで、さらにカメラ付玄関子機あるいは増設用ドアホン子機をもう1台まで増設できます。
- メニュー画面の設定により2世帯住宅への対応もできます。
- お買い上げ時は、1世帯住宅向けに設定されています。（一斉呼出：モードA）

本説明書では、カメラ付玄関子機、増設用ドアホン子機に共通することは「**ドアホン子機**」、モニター親機、増設用モニター親機に共通することは「**親機**」という表現で説明しています。また、増設用モニター親機については「**増設親機**」という表現で説明しています。

4. 使用上のご注意

親機について

- 親機から50cm以内でお話しください。離れすぎると音声が聞き取りにくくなります。
- 親機やドアホン子機の周囲が騒がしいと、音が途切れて聞き取りにくくなることがあります。
- 相手が話し終わってからお話ください。相手が話している最中に話しかけると、相手の声が途切れることがあります。
- 親機の周囲が騒がしいときには、「音声応答機能」は使わないでください。
  周囲の騒音で親機が応答し、意図せずに室内の音がドアホン子機のスピーカーから屋外にもれることがあります。
- 親機の下側にはスピーカーがあります。塞いだり、近くに物を置かないでください。音質が悪くなったり、音が途切れて聞き取りにくくなることがあります。
- 近くに高出力の無線局や強い磁気を発生するものなどがあると、映像や音声が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
- 地磁気の影響により、映像範囲が変わる場合がありますが、故障ではありません。

カメラ付玄関子機について

- 夜間はカメラ付玄関子機内蔵の赤外線LEDで、約50cm以内の来訪者を照らし、映し出します。それ以上離れた映像を見たい場合には、別途照明を設置してください。
- 外気温が急に下がった場合に、カメラが曇り、映像が見えにくくなることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正常に戻ります。
- 冬期、カメラ付玄関子機の表面が凍結すると、映像が見えにくくなったり、呼出ボタンが動かないことがありますが、故障ではありません。気温が上がれば正常に戻ります。
- カメラ付玄関子機は防雨構造になっていますが、ホースなどで直接水をかけないでください。特に下方からかけないでください。水抜き穴から、カメラ付玄関子機の内部に水が入ることがあります。
- カメラ付玄関子機のカメラレンズ部は1年に1度は清掃してください。

5. お手入れについて

- 汚れを落とすときは、柔らかい布で空ぶきしてください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を布に浸して拭き、さらに、乾いた布で拭き取ってください。
- シンナー、ベンジン、化学ぞうきん類は使用しないでください。

6. システム例

本システムには、下表の機種が接続できます。

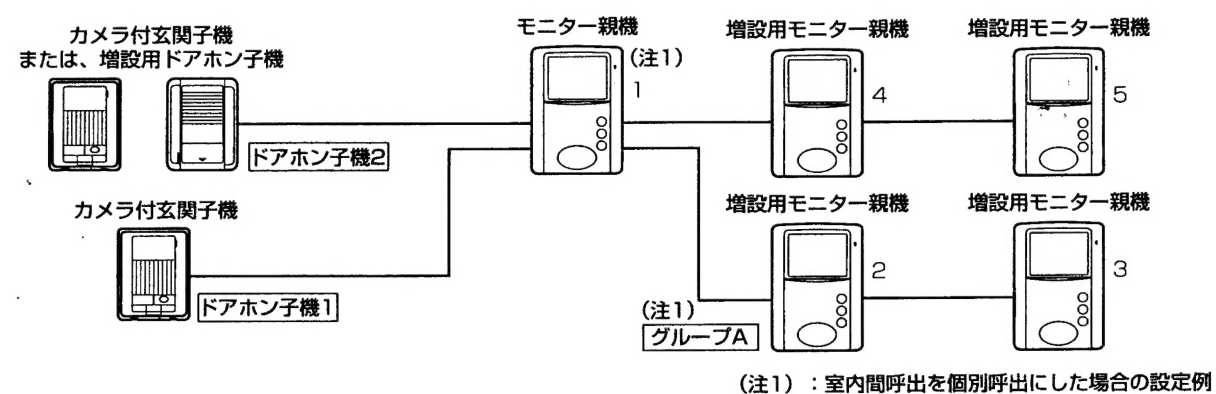
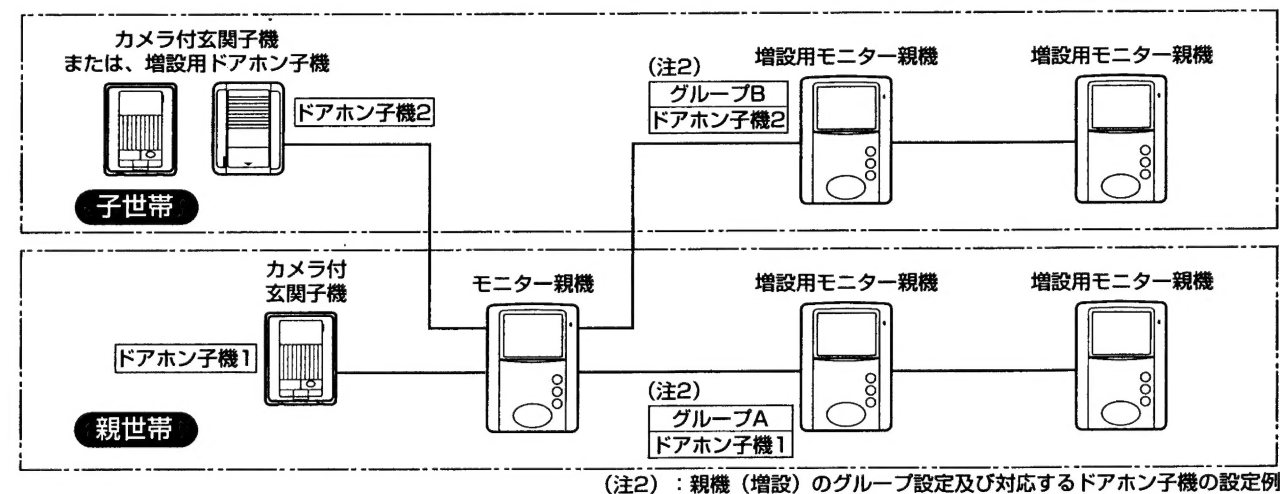
	機種名	台数
モニター親機	VK-M70H	1台
増設用モニター親機	VK-M70PP	4台
カメラ付玄関子機	VK-M70K	2台
増設用ドアホン子機	TSU-185	1台

カメラ付玄関子機を2台接続した場合は、増設用ドアホン子機を接続できません。
増設用ドアホン子機は、モニター親機の3、4番端子に1台だけ接続できます。

1世帯住宅の場合

（注1）：室内間呼出を個別呼出にした場合の設定例

2世帯住宅の場合

（注2）：親機（増設）のグループ設定及び対応するドアホン子機の設定例

7. 特長

インターホン機能

- 手放しで通話ができる**ハンズフリー方式を採用。**
- 親機の通話ボタンを一度押すだけで通話ができる**ワンタッチ応答機能。**
- 「は～い」と返事するだけで通話ができる**音声応答機能。**
- 呼出されても応答しないときは、自動的に映像が消える**タイマー機能。**
- 玄関先の様子を音と映像で確認することができる**モニター機能。**
- 玄関先から室内の家族に呼びかける**帰宅コール機能。**
- 親機間で音声による呼びかけ及び通話ができる**室内間呼出通話機能。**
- カメラ付玄関子機は画角が**ワイド**で、低い位置でも取り付けできる**チルト機構**付き。
  また、**赤外線LED**により、暗闇でも約50cm前方まで見ることができます。

メニュー設定と画面表示

- メニュー画面のモード設定により、室内呼の呼出方法を、
  一斉呼出(モードA)、グループ呼出(モードB)、グループ/個別呼出(モードC)に対応できます。

> **モードA：** 1世帯住宅用（一斉呼出機能）として使う場合に便利です。
> **モードB：** 2世帯住宅用（グループ呼出機能）として使う場合に便利です。
> **モードC：** モードBに個別呼出機能を追加したモードです。1世帯使用でも個別呼出が多い場合に便利です。

- 2台のドアホン子機のうち、どちらのドアホン子機の呼出に応答するかをモニター親機、増設用モニター親機で設定できます。
- 設定により、グループ別に内線呼出及び通話ができます。
- 設定により、**2世帯住宅にも対応できます。**
- 2世帯住宅の設定時に、他世帯へもドアホン子機からの呼出がかけられる**留守コール機能。**
- ドアホン子機1、2からの呼出に対して呼出音を鳴らすかどうかを、親機で設定できます。
- ドアホン子機からの呼出は、**2種類の呼出音**とモニター画面上の**画面表示**により区別できます。
- 親機からの呼出及び通話等の状態を画面表示します。
- メニュー画面により通話タイマーなどをお好みの設定に変更できます。

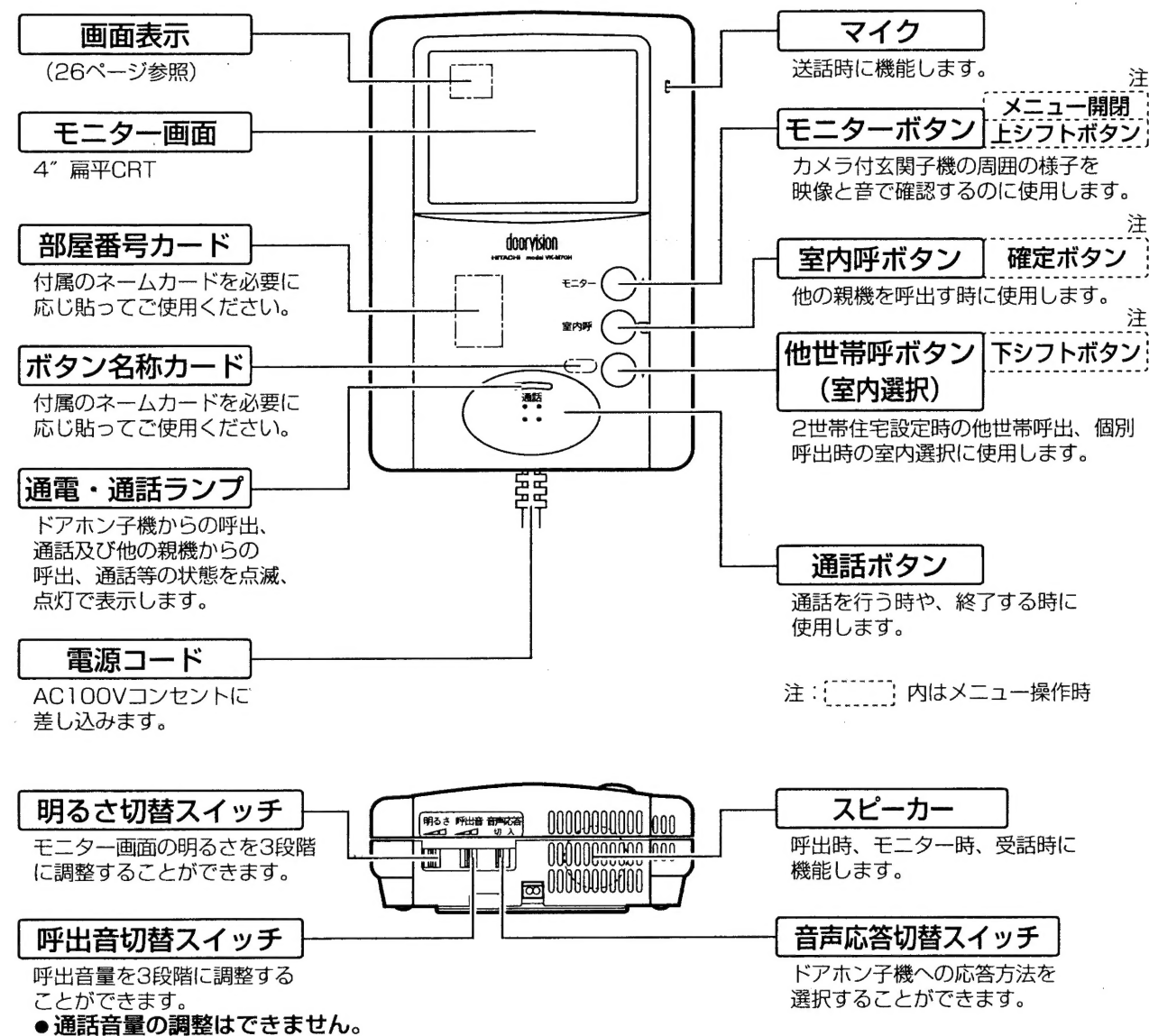
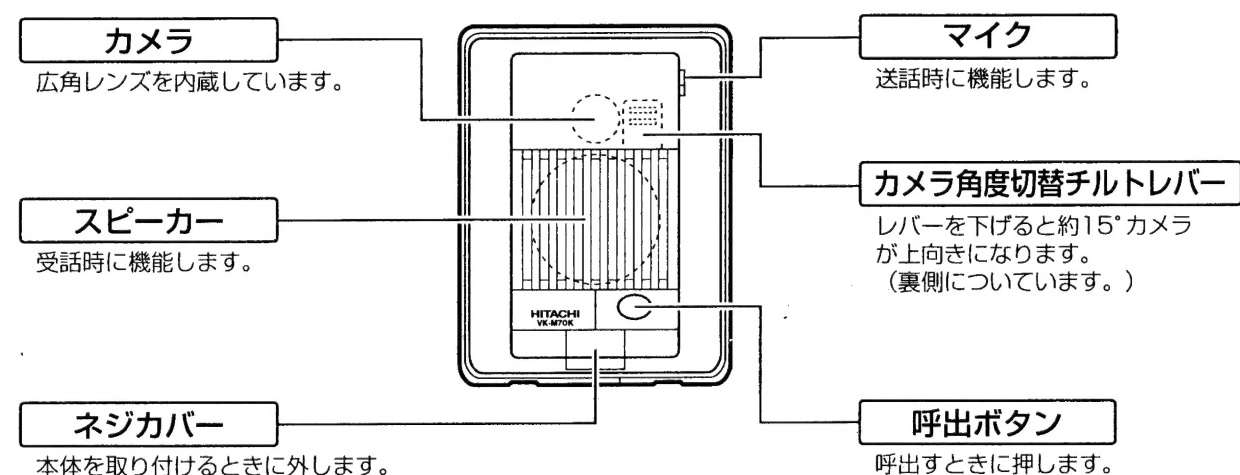
8. 機能一覧表

機能	機能説明	参照ページ
チルト機構	カメラ付玄関子機の裏側のレバーを動かすとレンズが上下します。	8
明るさ切替	モニター画面の明るさを3段階に調整することができます。	8
呼出音切替	呼出音量を3段階に調整することができます。	8
ハンズフリー方式	手放しで通話できる方式。	9
ワンタッチ機能	モニター親機の通話ボタンを一度押すだけで通話ができます。	9
音声応答	ドアホン子機からの呼びかけに「はーい」と返事するだけで通話ができる機能。	9
テレビドアホン	カメラ付玄関子機と親機により、来訪者を映像と音声で確認し、通話することができます。	9
モニター機能	カメラ付玄関子機側の様子を、映像と音で確認できます。	10
画面表示	ドアホン子機から呼出先の区別、及び親機からの呼出、通話等の状態を画面上に表示します。	8、26
呼出音の有無選択	ドアホン子機からの呼出音の有無が選択できます。	16
留守コール	留守をする時に、自世帯のドアホン子機からの呼出を、他世帯の親機にもかけられる機能。留守コールの有無が設定できます。（モードB、C）	14、18

機能	個別メニュー1、2により使用できる機能	参照ページ
チャイム音	2種類の音と呼出音なしの中から選べます。	16
室内呼出	室内呼出方法を、音声呼出、呼出確認音後の音声呼出、呼出音の中から選べます。	16
バイリンガル	メニュー表示を日本語または英語に設定できます。	17
親機間の応答設定	親機間の室内呼出応答の有無、及びグループ設定ができます。(モードB、C) モードCでは室内間呼出を、個別呼出に設定できます。	18、19

機能	システムメニュー1、2により使用できる機能	参照ページ
モード変更	室内呼の呼出方法を、一斉呼出(モードA)、グループ呼出(モードB)、グループ/個別呼出(モードC)に変えることができます。	17
帰宅コール	ドアホン子機から「ただいま」等呼びかけることができます。	14、17
通話タイマー	通話時間を1分または3分に設定できます。	18

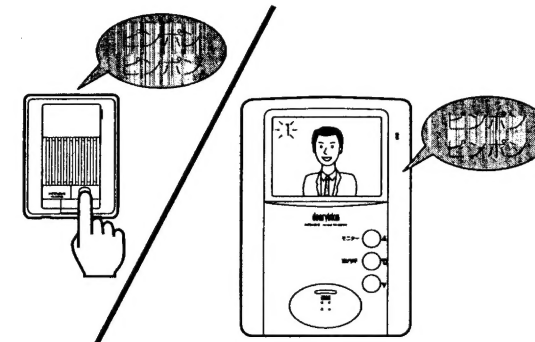
9. 各部の名称とはたらき

モニター親機（VK-M70H）・増設用モニター親機（VK-M70PP）

カメラ付玄関子機（VK-M70K）

10. 操作のしかた

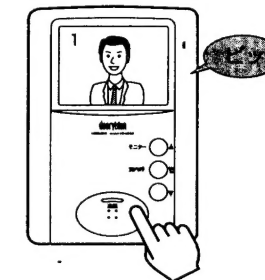
10.1 1世帯住宅の場合 ……………… メニュー画面でモードAに設定した場合（お買い上げ時の設定）

■カメラ付玄関子機から親機を呼出、通話をする時

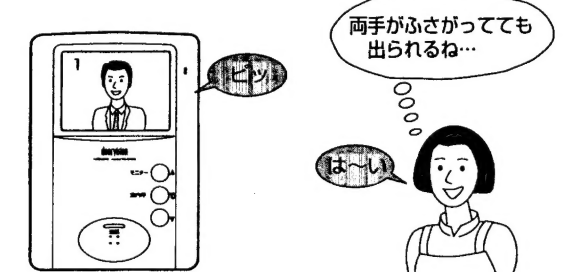
（ドアホン子機が増設用ドアホン子機の場合は、映像は映りませんが操作は同様です。）

呼出ボタンを押す

- すべての親機で呼出音が鳴り、映像が映し出されます。
- モニター画面左上に該当するドアホン子機の番号が表示されます。ドアホン子機1からの呼出の時は "1" ドアホン子機2からの時は "2" と表示されます。
  呼出中は番号が点滅し、応答すると点灯になります。
- 通話ランプが緑色の点灯から点滅に変わります。
  音声応答「切」のとき、赤色に点滅
  音声応答「入」のとき、緑色に点滅

※呼出音が鳴ってから、30秒間応答しない時は、映像が消え、待機状態に戻ります。

通話ボタンで応答する（ワンタッチ応答機能）

- 呼出音が鳴ったら、通話ボタンを押し "ピッ" と鳴ったらお話ください。
- 通話ランプが点滅から点灯に変わります。
  ドアホン子機→親機への送話時、橙色に点灯
  親機→ドアホン子機への送話時、赤色に点灯

※音声応答切替スイッチが「入」、「切」に関係なくご使用できます。

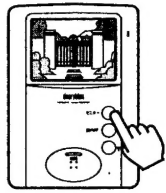
音声応答機能を使ってハンズフリーで応答する（音声応答切替スイッチ「入」の時）

- 呼出音が鳴ったら「は〜い」と答え、"ピッ" と鳴ったらお話ください。
- **「は〜い」はドアホン子機には聞こえません。**
- 通話ランプが緑色の点滅から点灯に変わります。
  ドアホン子機→親機への送話時、橙色に点灯
  親機→ドアホン子機への送話時、赤色に点灯

- 応答しない親機は、映像が消え、通話ランプが赤色に点灯します。
- 切り忘れ防止のために、通話開始から3分または1分後に映像と通話は切れ、待機状態に戻ります。もう一度通話ボタンを押すと、再び通話できます。

通話終了

- 通話ボタンを押すと通話が終了し待機状態に戻ります。
- 通話ランプは緑色の点灯に戻ります。

■親機からカメラ付玄関子機の映像を見たい時（モニター機能）

カメラ付玄関子機が2台の時

- モニターボタンを押すとカメラ付玄関子機1周辺の映像と音が聞こえます。
- モニターボタンを押すごとにカメラ付玄関子機1→カメラ付玄関子機2→待機状態を繰り返します。
- モニター中は、画面左上にカメラ付玄関子機の番号が表示され、通話ランプが赤色に点灯します。
- モニター中に通話ボタンを押すとカメラ付玄関子機との通話になります。
  通話を終了する時は通話ボタンを押してください。

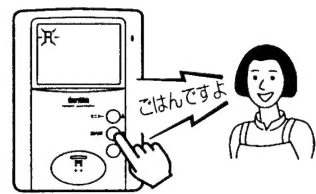
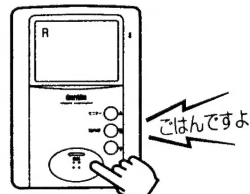
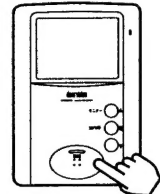
カメラ付玄関子機が1台の時

モニターボタンを押すごとにカメラ付玄関子機1→待機状態を繰り返します。その他は2台の時と同様です。

■親機間で呼出、通話をする時（メニューで"シツナイヨビ"の設定が"オンセイヨビ1"の時）

呼出す

応答する

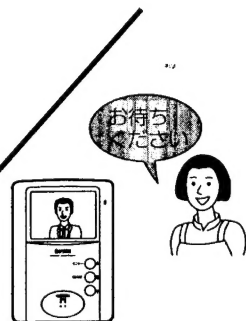
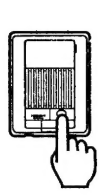
終了

- 通話ランプが赤色に点灯してないことを確認後、室内呼ボタンを押す。
- 通話ランプが赤色で点滅し、画面左上に"R"の文字が点滅しますので、そのまま呼出してください。

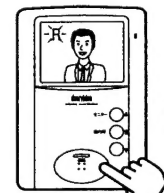
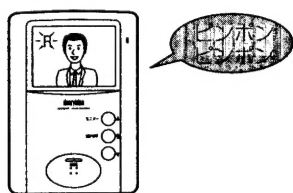
※呼出すと全親機に呼出しがかかります。

- 呼ばれた方は通話ボタンを押してお話ください。
- 通話ランプが橙色（赤色）に点灯し、画面左上の"R"の文字が点灯になります。
- 通話中以外の親機は、通話ランプが赤色に点灯し、使用できなくなります。

※親機間は音声のみで、画面には"R"の文字のみ表示されます。

- どちらかの親機で通話ボタンを押してください。

■ドアホン子機との通話を他の親機に転送する時

- 室内呼ボタンを押し、他の親機を呼出してください。
- 相手が応答したら、どちらかの親機で通話ボタンを押し、通話を終了します。
- 応答する方の親機で通話ボタンをもう一度押してください。ドアホン子機と通話できます。

■室内通話中にドアホン子機から呼ばれて通話をする時

①1回押す：室内通話終了
②もう1回押す：ドアホン通話可

- ドアホン子機から呼出しがあると
  通話中の親機…画面左上の"R"の文字が点灯のまま、小さく呼出音が鳴り、ドアホン子機の映像が出ます。
  通話中以外の親機…呼出音は通常音で鳴り、画面左上の文字が"BUSY"となります。
- 通話ボタンを押し室内通話を終了すると、すべての親機で呼び出したドアホン子機の番号が画面左上に点滅します。また、通話ランプは緑色（赤色）に点滅します。
- 応答する親機は、通話ボタンを押して通話します。
  その時、ドアホン子機の番号が点灯表示となります。

■カメラ付玄関子機と通話中に、他のカメラ付玄関子機から呼ばれて通話をする時

使用方法は上記の「室内通話中にドアホン子機から呼ばれて通話をする時」と同様です。

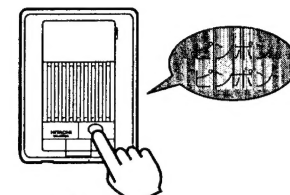
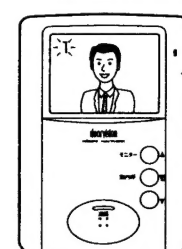
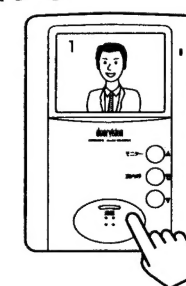
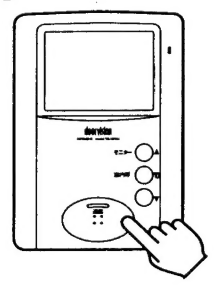
10.2 2世帯住宅の場合 ……………メニュー画面でモードBに設定した場合

詳細は、「12.3 モードBメニューでの設定のしかた」（18ページ参照）

以下に基本的な使用方法を説明します。他は10.1項の1世帯住宅の場合と同様です。

親世帯の親機をグループAに設定し、子世帯の親機をグループBに設定する。また、親世帯に接続されるドアホン子機をドアホン子機1に、子世帯に接続されるドアホン子機を、ドアホン子機2に設定した場合〔システム例（5ページ）を参照してください〕

■カメラ付玄関子機から親機を呼出、通話をする時

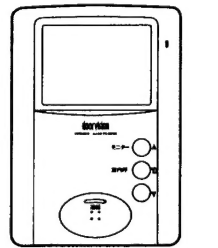
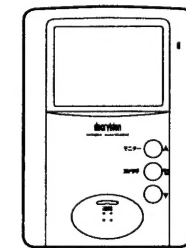
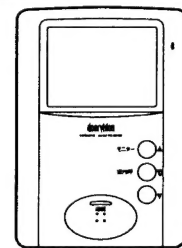
親世帯親機

- 親世帯のすべての親機で呼出音が鳴り、映像が映ります。
- 通話ランプが緑色の点灯から点滅に変わります。
- モニター画面左上に"1"が点滅表示されます。

応答する

- 呼出音が鳴ったら、通話ボタンを押し"ピッ"と鳴ったらお話ください。
- 通話ランプが赤色の点滅から点灯に変わります。
  ドアホン子機→親機への送話時、橙色に点灯
  親機→ドアホン子機への送話時、赤色に点灯

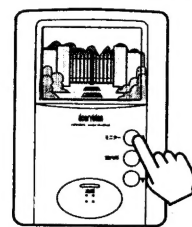
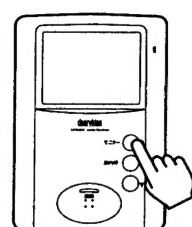
終了

- 通話ボタンを押すと通話が終了し待機状態に戻ります。
- 通話ランプは緑色の点灯に戻ります。

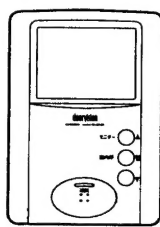
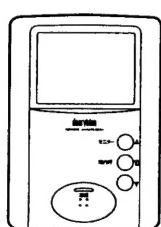
子世帯親機

- 通話ランプが緑色の点灯から赤色の点灯に変わります。
- 通話ランプは赤色の点灯のままです。
- 通話ランプが緑色の点灯に変わります。

■親機から自世帯のカメラ付玄関子機の映像を見たい時

（モニター機能）

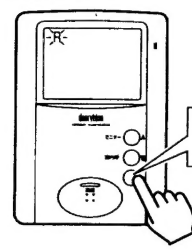
親世帯親機

● モニターボタンを押すと、カメラ付玄関子機1の周辺の映像が映り、音が聞こえます。
● 通話ランプが緑色の点灯から赤色の点灯に変わります。

● もう一度モニターボタンを押すと、待機状態に戻ります。
● モニターボタンを押すごとにカメラ付玄関子機1→待機状態→カメラ付玄関子機1を繰り返します。

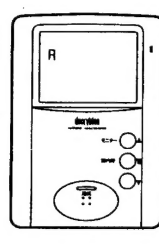
● モニター中は、画面左上にカメラ付玄関子機の番号が点灯表示されます。
● 他世帯のカメラ付玄関子機をモニターすることはできません。

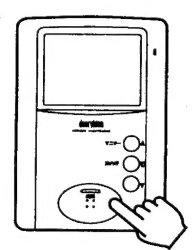
子世帯親機/親世帯の他の親機

● 通話ランプが緑色の点灯から赤色の点灯に変わります。

● 通話ランプが赤色の点灯から緑色の点灯に変わります。

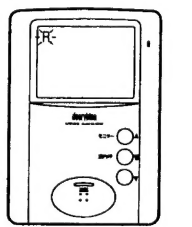
■2世帯親機間で呼出通話をする時

親世帯親機

呼出す

● 通話ランプが赤色に点灯していないことを確認後、他世帯呼ボタンを押します。
● 通話ランプが赤色で点滅し、画面左上に"R"の文字が点滅しますので、そのまま呼び出してください。
● 呼出中以外の親機では通話ランプが赤色に点灯し、使用できなくなります。

応答する

● 相手が応答すると、通話ランプが橙色（赤色）に点灯し、画面左上の"R"の文字が点灯になります。
● 通話中以外の親機は、通話ランプがひきつづき赤色に点灯し、使用できなくなります。
※親機間は音声のみで、画面には"R"の文字のみ表示されます。

終了

● どちらかの親機で通話ボタンを押してください。

子世帯親機

● すべての親機のスピーカーから音声で拡声されます。
● 通話ランプが赤色に点滅し、画面左上に"R"の文字が点滅します。
● 呼出中以外の親機では通話ランプが赤色に点灯し、使用できなくなります。

● 呼ばれた方は通話ボタンを押してお話しください。
● 通話ランプが橙色（赤色）に点灯し、画面左上の"R"の文字が点灯になります。
● 通話中以外の親機は、通話ランプが赤色に点灯し、使用できなくなります。

● どちらかの親機で通話ボタンを押してください。

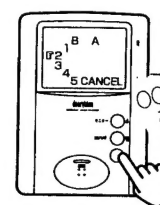
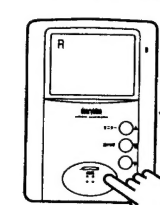
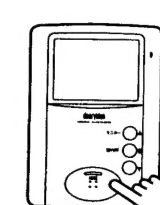
10.3 室内間呼出を個別呼出にした場合（1世帯/2世帯の両方に対応）

メニュー画面でモードCに設定する。詳細は、「12.4 モードCメニューでの設定のしかた」（19ページ参照）

以下に基本的な使用方法を説明します。他は10.1項、10.2項の場合と同様です。

グループ設定ですべての親機を"グループA"とし、個別番号設定をすべての親機が違う番号になるように、それぞれの親機で設定した場合〔システム例（5ページ）を参照してください〕

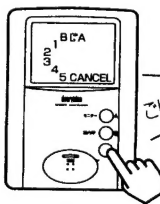
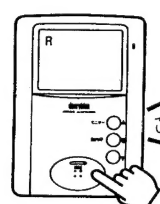
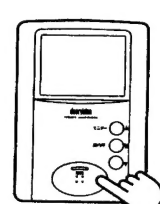
■1世帯住宅での親機間の呼出、通話をする時

呼出す

応答する

終了

● 通話ランプが赤色に点灯していないことを確認後、室内選択ボタンを押すと画面に"グループA、グループB、1～5、CANCEL"が表示されます。
● 呼出す親機の番号を、もう一度室内選択ボタンを押して選択します。
※ボタンを押すたびに☞マークが反時計方向に切り替わります。
※"CANCEL"は室内呼機能をキャンセルするときに選びます。
● 室内呼ボタンを押します。
通話ランプが赤色で点滅し、画面左上に"R"の文字が点滅しますので、そのまま呼出してください。

● 呼出音は選択した親機のみ鳴ります。
● 呼ばれた方は通話ボタンを押してお話ください。
● 通話ランプが橙色（赤色）に点灯し、画面左上の"R"の文字が点灯になります。
● 通話中以外の親機は、通話ランプが赤色に点灯し、使用できなくなります。

● どちらかの親機で通話ボタンを押してください。

■1世帯住宅での一斉呼出、通話をする時

呼出す

応答する

終了

● 室内選択ボタンを押して画面の"A"の文字を選択し、室内呼ボタンを押します。
● 通話ランプが赤色で点滅し、画面左上に"R"の文字が点滅しますので、そのまま呼出してください。

● 呼出音はグループAに設定したすべての親機で鳴ります。
● 呼ばれた方は通話ボタンを押してお話ください。
● 通話ランプが橙色（赤色）に点灯し、画面左上の"R"の文字が点灯になります。
● 通話中以外の親機は、通話ランプが赤色に点灯し、使用できなくなります。

● どちらかの親機で通話ボタンを押してください。

親世帯の親機をグループAに設定し、子世帯の親機をグループBに設定する。
また、親世帯に接続されるドアホン子機をドアホン子機1に、子世帯に接続されるドアホン子機をドアホン子機2に設定した場合〔システム例（5ページ）を参照してください〕

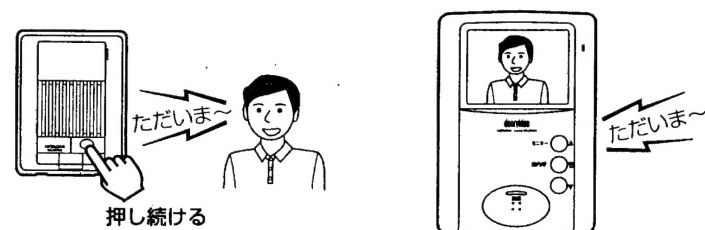
■2世帯住宅での同一世帯親機間の一斉呼出、通話をする時

室内選択ボタンで、画面の"A"または"B"の文字を選択してください。それ以外は上記の「1世帯住宅での一斉呼出、通話をする時」と同様です。

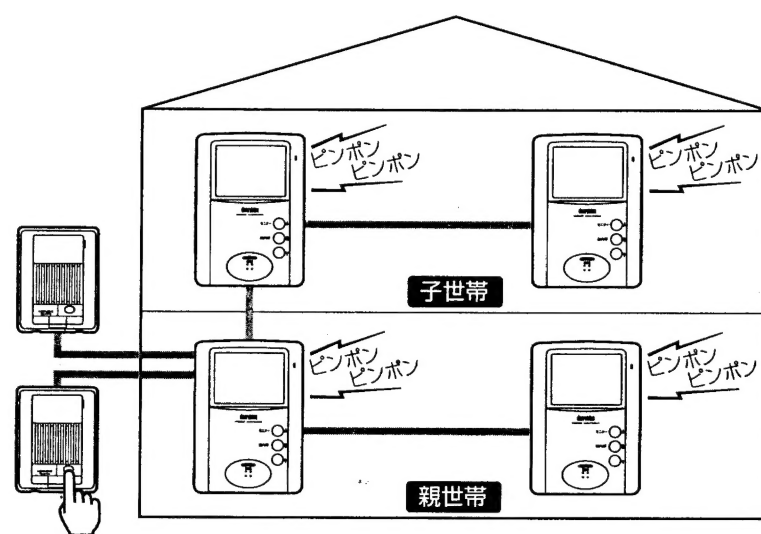
■2世帯住宅での他世帯親機間の呼出、通話をする時

室内選択ボタンで、画面の"A"または"B"の文字を選択する以外は12ページの「2世帯親機間での呼出通話をする時」と同様です。

11. さらに便利な使いかた

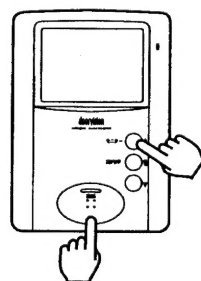
11.1 玄関先から室内の家族に呼びかけたい時（帰宅コール機能）

- カメラ付玄関子機の呼出ボタンを押し続け(約5秒以上)、呼出音が鳴った後、**ボタンを押したまま**お話ください。
- 「ただいま~」など、家族だけの使い方ができます。

※帰宅コール中は親機での音声応答はできません。
※帰宅コール機能はカメラ付玄関子機でのみできます。

11.2 留守コールを使いたい時（留守コール機能）

- 外出等で留守をする時に、自世帯のドアホン子機からの呼出しを、他世帯の親機にもかけることができます。**帰宅後は必ず留守コール設定をナシ(無効)に戻してください。**
- 設定方法は18ページを参照してください。

※留守コール機能をアリ(有効)にしても、他世帯のドアホン子機をモニターしたり、選択し通話することはできません。

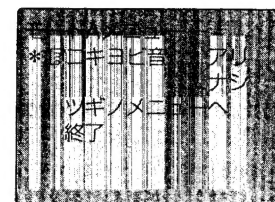
11.3 その他の機能、操作のしかた

■チャイルドロック（システムを停止する方法）

- 親機のモニターボタンを押しながら、通話ボタンを1.5秒以内に5回以上押すと全機能が停止します。この時、すべての増設親機も使えなくなります。
- 停止中は、親機の通話ランプが赤色で点滅し、増設親機の通話ランプは赤色に点灯します。
- 待機状態に戻すには、再度同様な操作を行うか、電源プラグを抜いて通電し直すかしてください。（前回設定の状態で待機状態となります。）
- 個々の増設親機のみ機能を停止する時は、その増設親機で同様な操作を行ってください。

12. メニュー画面の設定のしかた

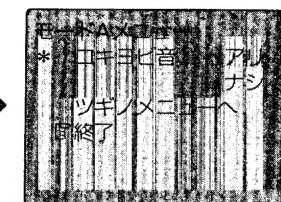
12.1 メニュー画面の開きかたと閉じかた

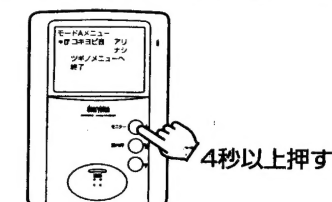
■メニュー画面の開きかた（モニター親機、増設モニター親機に共通）

親機の待機時に、モニターボタンを約2秒以上押すと確認音(ピッ)が鳴ってメニュー画面が開きます。

- メニュー画面の表示時間は3分間です。
- お買い上げ時の設定は、モードAになっています。
- 現在、設定されている項目には、＊がマークされています。

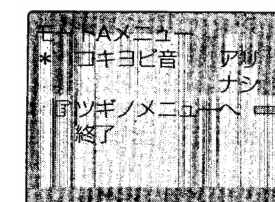
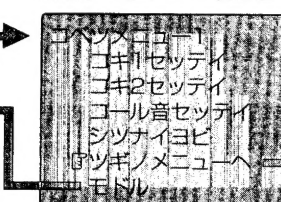
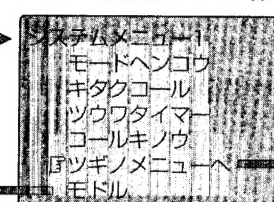
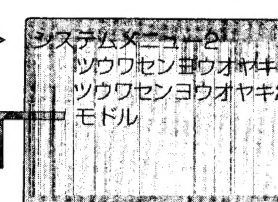
カーソルの動かしかたと確定のしかた
▲(上シフト)ボタンまたは▼(下シフト)ボタンで設定したい項目に☞マークを合わせ、☜(確定)ボタンを押します。

■メニュー画面の閉じかた（下記のいずれかの方法で閉じてください）

- コベツメニューやシステムメニューの設定が終了したらモドルに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- 画面をモードAメニューに戻します。
- 終了に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

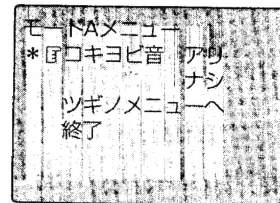
または

4秒以上押す

- メニュー画面が開いている状態でモニターボタンを4秒以上押してください。
- メニュー画面が消え、指を離すと確認音(ピッ)が鳴り、待機状態になります。

■コベツメニュー及びシステムメニュー画面の開きかた

- ツギノメニューへに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- コベツメニュー1は、モニター親機または、増設用モニター親機で個別に設定する項目です。
- コベツメニュー2は、日本語表示と英語表示の切替メニューです。
- システムメニュー1はシステム共通のメニューです。**モニター親機で設定するとすべての増設親機が同じ設定になります。**
- システムメニュー2は本機では使用しません。

12.2 モードAメニューでの設定のしかた

【1】モードAでの設定（モニター親機、増設用モニター親機で個々に設定）

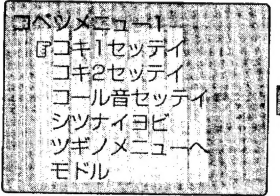
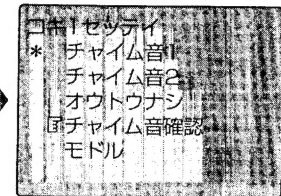
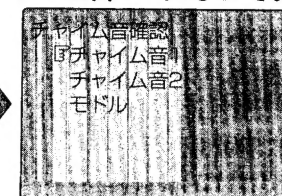
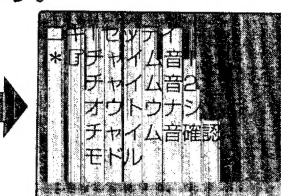
■子機呼出音の有無選択

ドアホン子機1、2からの呼出音(チャイム音)の有無が選べます。お買い上げ時は"コキヨビ音アリ"になっています。

コキヨビ音 ナシを選択すると、ドアホン子機1、2からの呼出音のみ停止することができます。
この場合でも呼出しがあると映像が映り、応答すれば通話もできます。

- コキヨビ音 アリまたはナシに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。

【2】個別メニュー1での設定（モニター親機、増設用モニター親機で個々に設定）

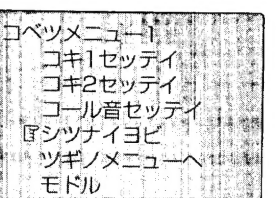
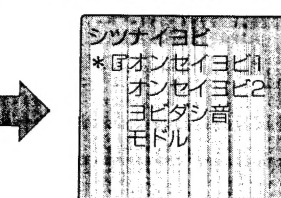
■子機1チャイム音の選択

2種類のチャイム音が選べます。お買い上げ時は"チャイム音1"になっています。

- コキ1セッテイに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- チャイム音確認に☞を合せる。
- ☞ボタンを押す。

- チャイム音1または2に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押すと親機より選んだチャイム音が聞こえます。
  チャイム音1
  ピンポン、ピンポン
  チャイム音2
  ポロロ、ポロロ、ポロロン
- モドルに☞を合わせて☞ボタンを押し、画面を戻します。

- チャイム音を確認したらお好みのチャイム音を選んでください。
- チャイム音1または2に☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
  ピッ"という音でセット完了です。
- ドアホン子機1と応答しないときは、"オウトウナシ"を選びます。これで子機1の呼出音も鳴らず画面も写りません。
- モドルに☞を合わせて始めの画面に戻します。

■子機2チャイム音の選択

「子機1チャイム音の選択」の要領で子機2のチャイム音の設定をします。
お買い上げ時は"チャイム音2"になっています。

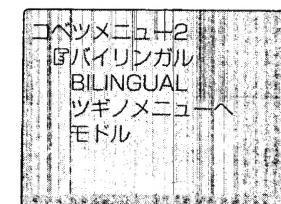
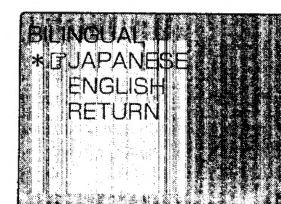
■室内呼出方法の選択

室内呼出方法を設定します。お買い上げ時は"オンセイヨビ1"になっています。

- シツナイヨビに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- 3種類の中から1つを選び☞を合せる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

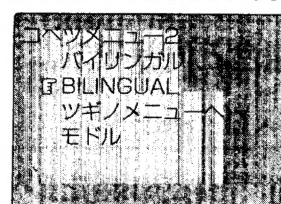
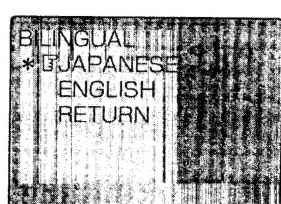
※ "オンセイヨビ1"は、直接音声で呼出します。
"オンセイヨビ2"は、呼出確認音(ポーン)の後、直接音声で呼出します。
"ヨビダシ音"は、相手の親機で呼出音が鳴ります。

【3】個別メニュー2での設定（モニター親機、増設用モニター親機で個々に設定）

■バイリンガルの選択

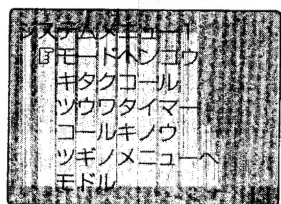
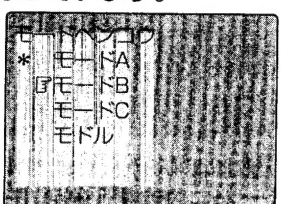
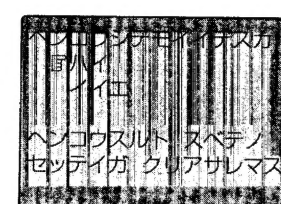
画面の表示を、日本語または英語に選択することができます。お買い上げ時は"JAPANESE(日本語)"になっています。

- バイリンガルに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- JAPANESE(日本語)またはENGLISH(英語)に☞を合せる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。
- RETURNに☞を合わせて戻します。

■BILINGUALの選択

英語表示に設定した例です

- BILINGUALに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- JAPANESE(日本語)またはENGLISH(英語)に☞を合せる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。
- RETURNに☞を合わせて戻します。

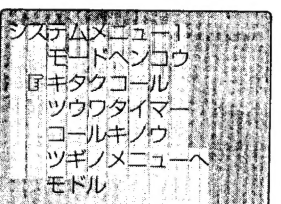
【4】システムメニュー1での設定（モニター親機で設定します。増設用モニター親機には、このメニューはありません。）

■システムのモード変更の選択

モニター親機でモード変更するとすべての増設親機のモードが変更になります。
お買い上げ時は、モード"A"になっています。

- モードヘンコウに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- モードBに☞を合せる。
- ☞ボタンを押す。
  モードAは、 1世帯住宅の時
  モードBは、 2世帯住宅の時
  モードCは、 室内間呼出を個別呼出にした時。

- ハイまたはイイエに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- ピッ" という音でセット完了です。

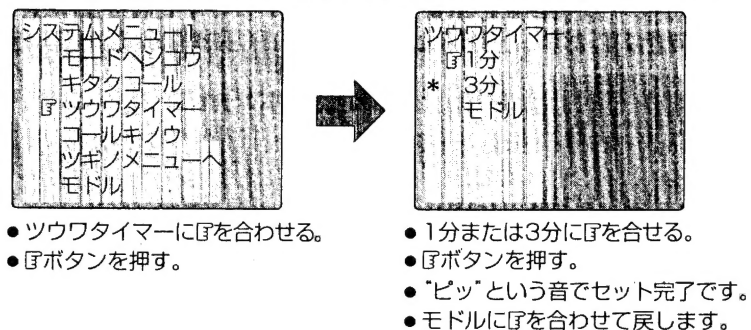
※設定がわからなくなった時などに、モードAに設定することで、お買い上げ時のモードにリセットすることができます。

■帰宅コールの選択

玄関から室内の家族に呼びかけられます。お買い上げ時は、"キタクコール アリ"になっています。

- キタクコールに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- アリまたはナシに☞を合せる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

■通話タイマーの選択

ドアホン子機との通話時間が設定できます。お買い上げ時は、"ツウワタイマー　3分"になっています。

ツウワタイマー
☞1分
* 3分
モドル

- ツウワタイマーに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- 1分または3分に☞を合せる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

12.3 モードBメニューでの設定のしかた

2世帯住宅用として使う場合に便利です。モードAメニューにグループ設定機能が追加されています。

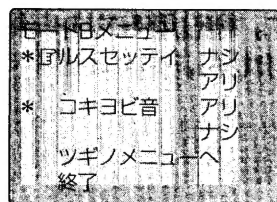
以下に基本的な使用方法を説明します。他はモードAメニューの場合と同様です。

※モードを変更するときは、17ページを参照してください。

【1】モードBメニューでの設定

(モニター親機、増設用モニター親機でそれぞれに設定できますが、どれか1台ですべての設定を変更することができます。)

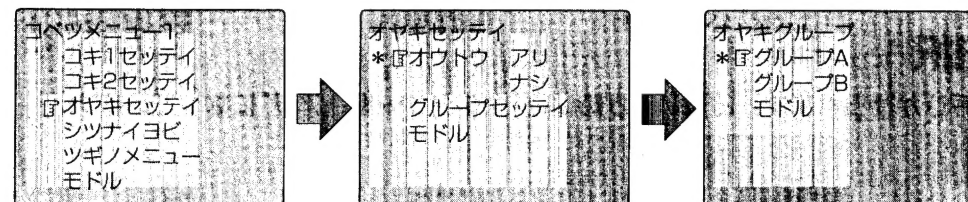
■留守コール機能の有無選択

お買い上げ時は、"ナシ"になっています。

- ルスセッテイ　ナシまたはアリに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。

【2】個別メニュー1での設定（モニター親機、増設用モニター親機でそれぞれに設定）

■親機設定

親機間の室内呼出時の応答有無、及び2世帯住宅でのグループ設定ができます。
お買い上げ時は"オウトウアリ"、"グループA"になっています。

オヤキグループ
*☞グループA
グループB
モドル

- オヤキセッテイに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

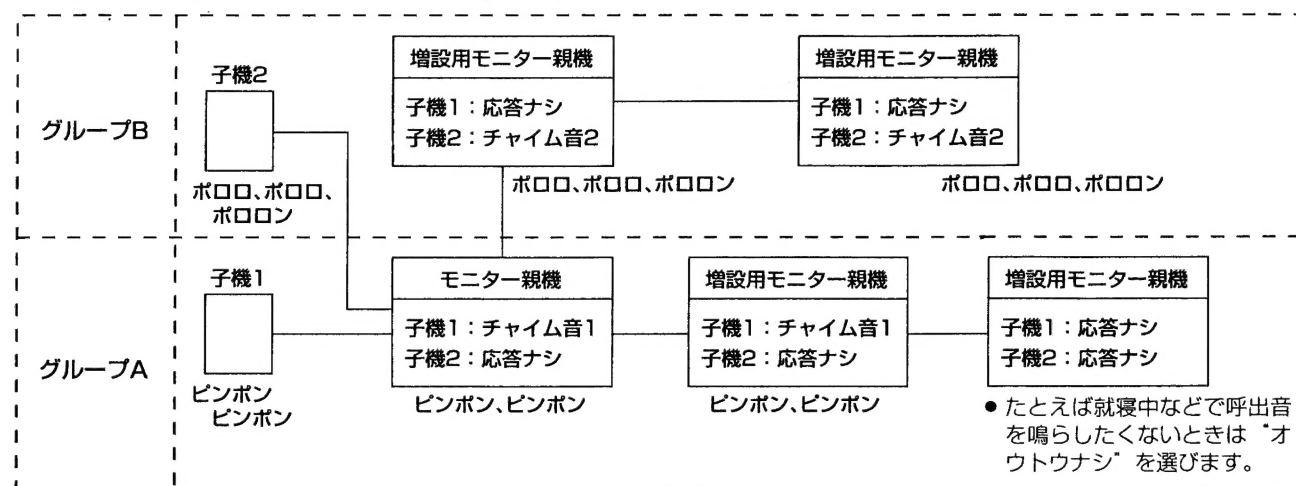
- オウトウアリまたはナシに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。
- グループ設定する時は、同様な操作で次の画面を開いてください。

- グループAまたはグループBに☞を合せる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

※ 室内呼出で、他の親機からの呼出を受けないときは、"オウトウナシ"を選択してください。
その場合でも他の親機を呼出して通話することができます。

■子機設定

子機1、2の呼出をグループ設定するには、それぞれの親機で子機1、2の設定を行ない、"チャイム音1""チャイム音2""オウトウナシ"を選びます。

- たとえば就寝中などで呼出音を鳴らしたくないときは"オウトウナシ"を選びます。

12.4 モードCメニューでの設定のしかた

(モードBメニューに個別呼出機能が追加されています。)

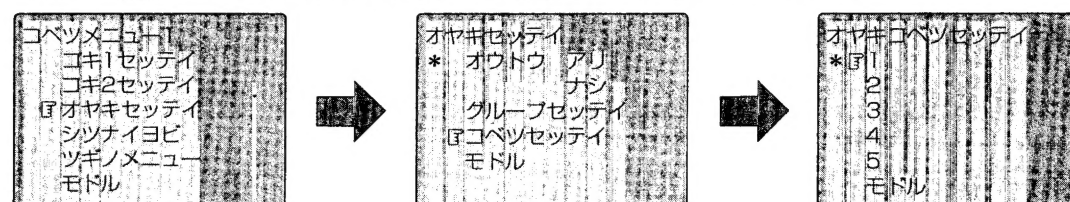
以下に基本的な使用方法を説明します。他はモードBメニューの場合と同様です。

※モードを変更するときは、17ページを参照してください。

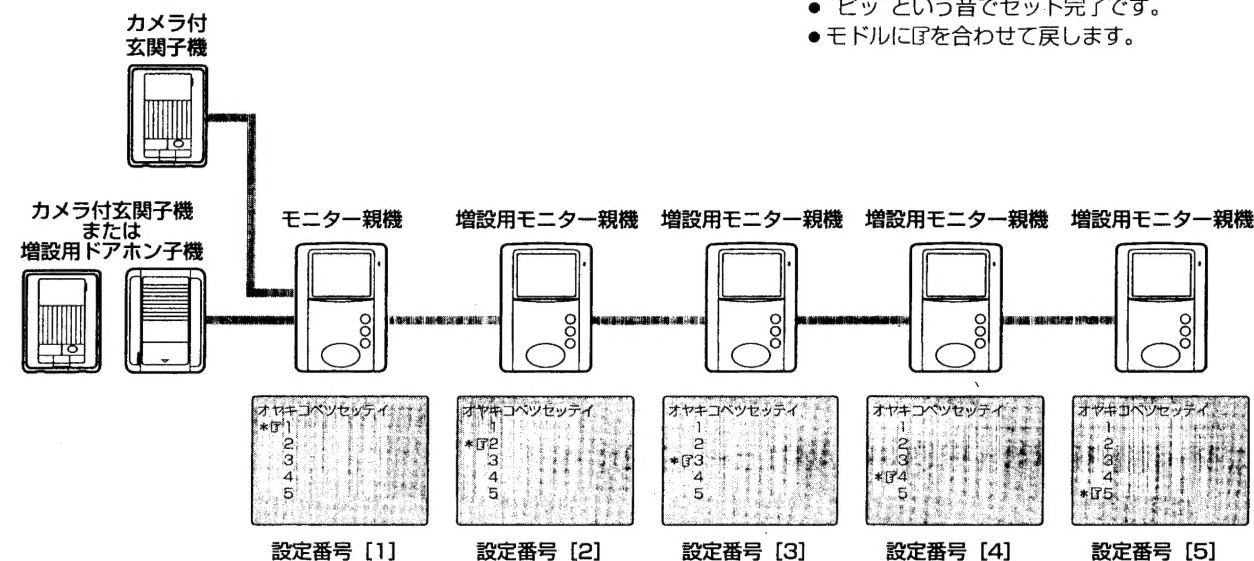
【1】個別メニュー1での設定（モニター親機、増設用モニター親機で個々に設定）

■親機設定

(親機間の室内呼出応答の有無及びグループ設定は、モードBメニューを参照してください。)

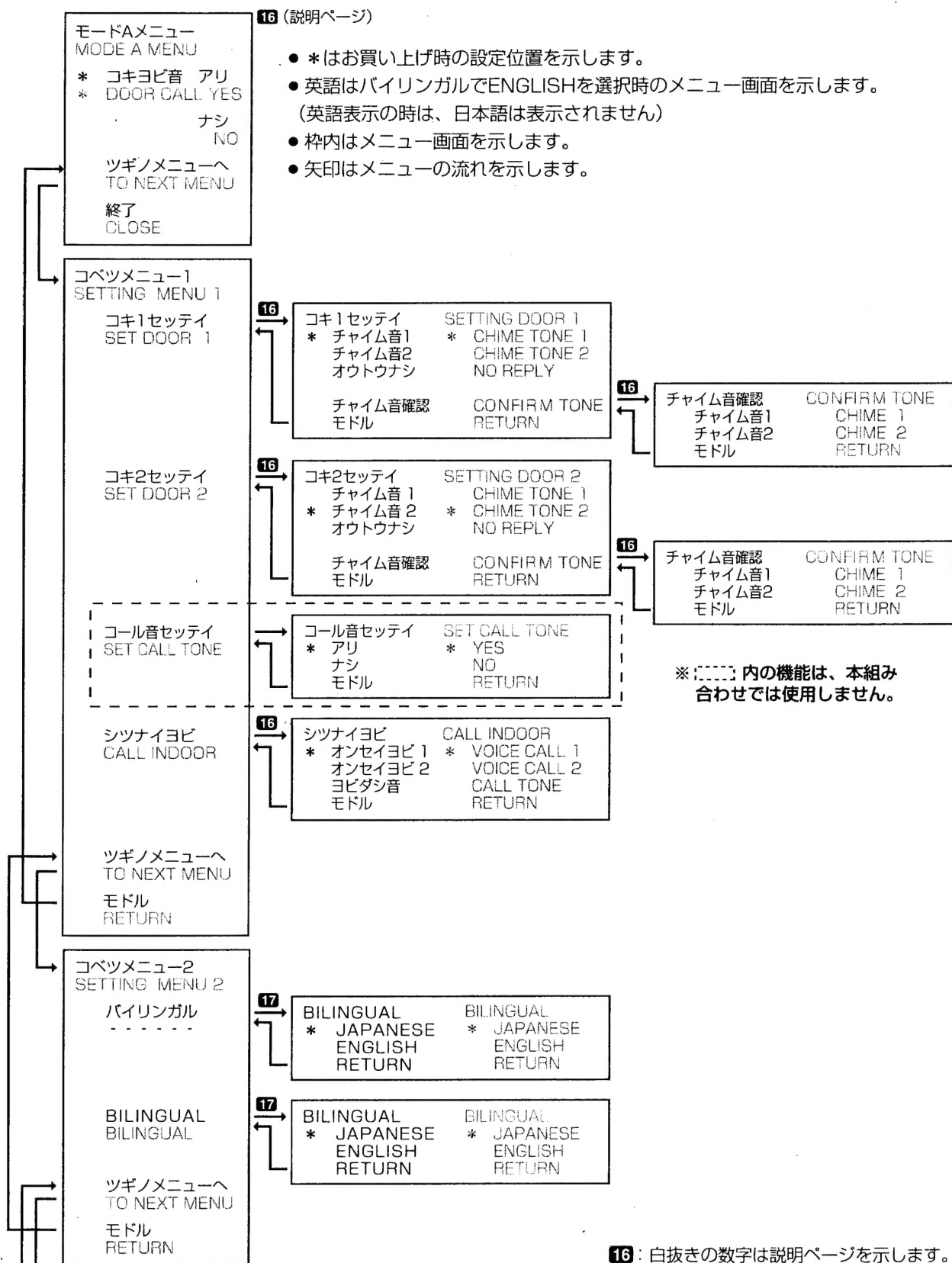
各親機で1～5の数字を選択して、各親機の番号を設定してください。また、すべての親機が違う番号になるように設定してください。(お買い上げ時は、"1"になっています。)

- オヤキセッテイに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

- コベツセッテイに☞を合わせる。
- ☞ボタンを押す。

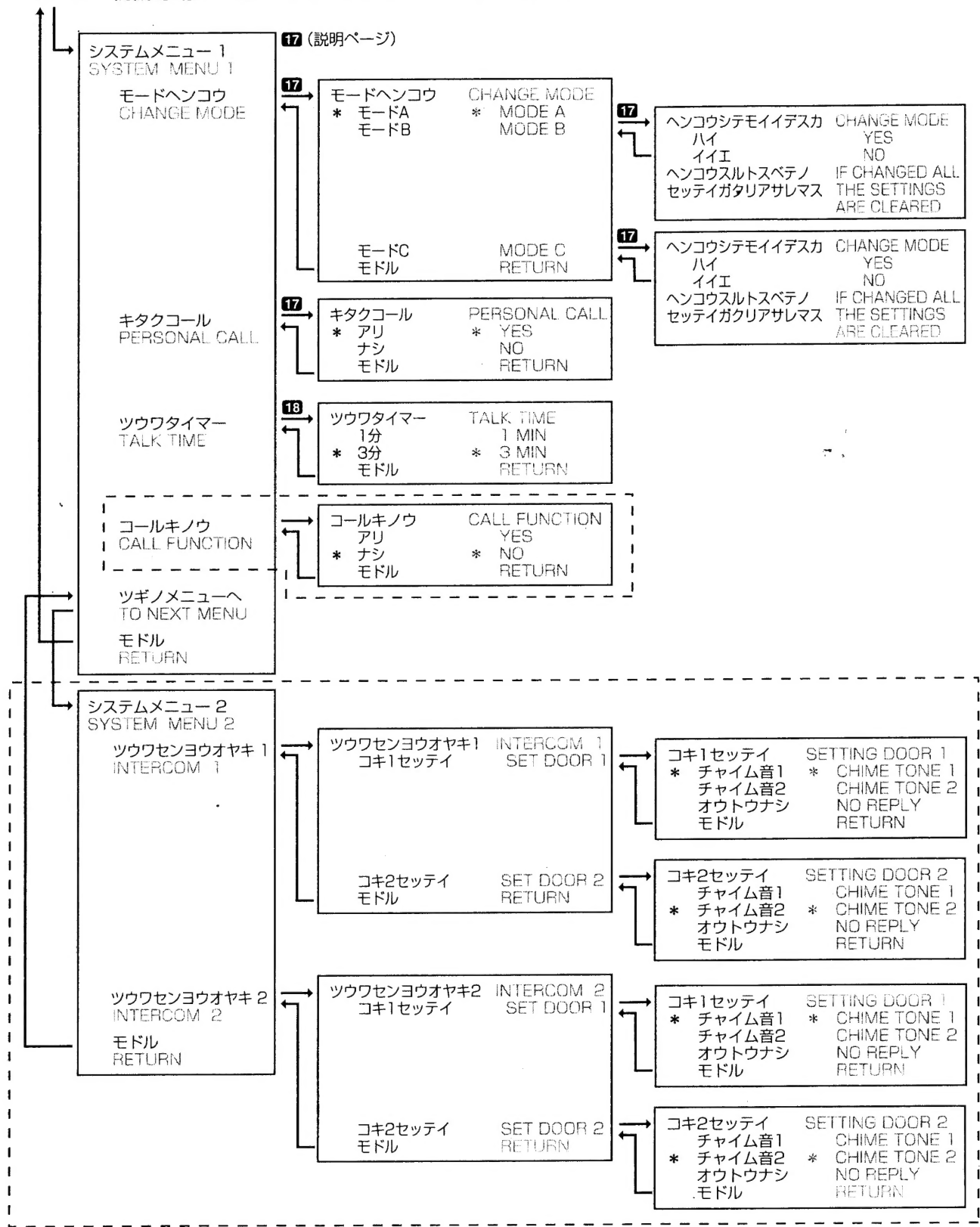
- 1～5に☞を合せる。
- ☞ボタンを押す。
- "ピッ"という音でセット完了です。
- モドルに☞を合わせて戻します。

12.5 メニュー画面一覧表

■ [モードAメニュー（1/2）] モニター親機・増設用モニター親機共通

- ＊はお買い上げ時の設定位置を示します。
- 英語はバイリンガルでENGLISHを選択時のメニュー画面を示します。（英語表示の時は、日本語は表示されません）
- 枠内はメニュー画面を示します。
- 矢印はメニューの流れを示します。

16：白抜きの数字は説明ページを示します。

モニター親機専用メニュー [モードAメニュー（2/2）] へ

■ [モードAメニュー（2/2）] モニター親機専用

モニター親機専用メニュー [モードAメニュー（1/2）] へ

※ 内の機能は、本組み合わせでは使用しません。

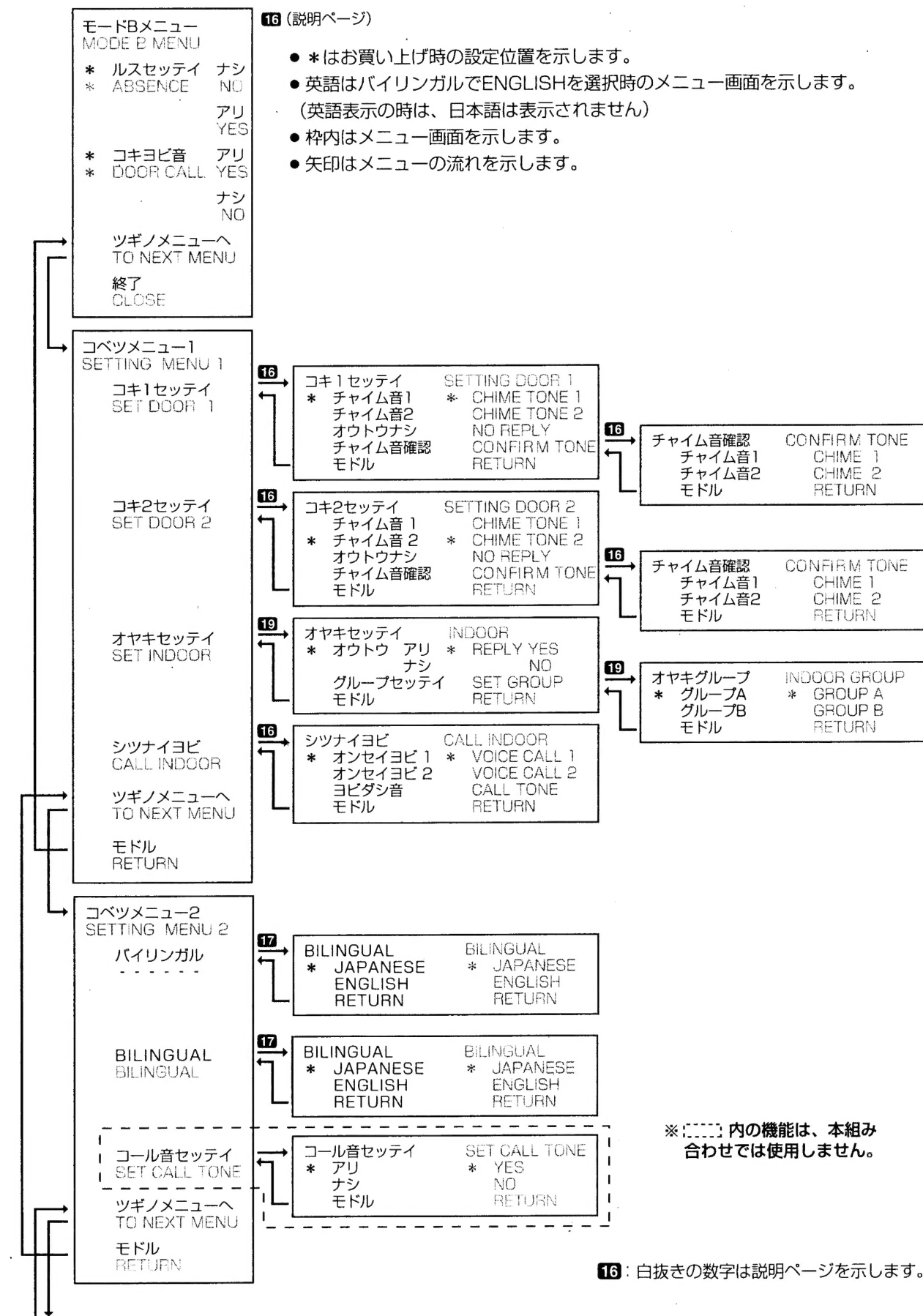
16：白抜きの数字は説明ページを示します。

■［モードBメニュー（1/2）］モニター親機・増設用モニター親機共通

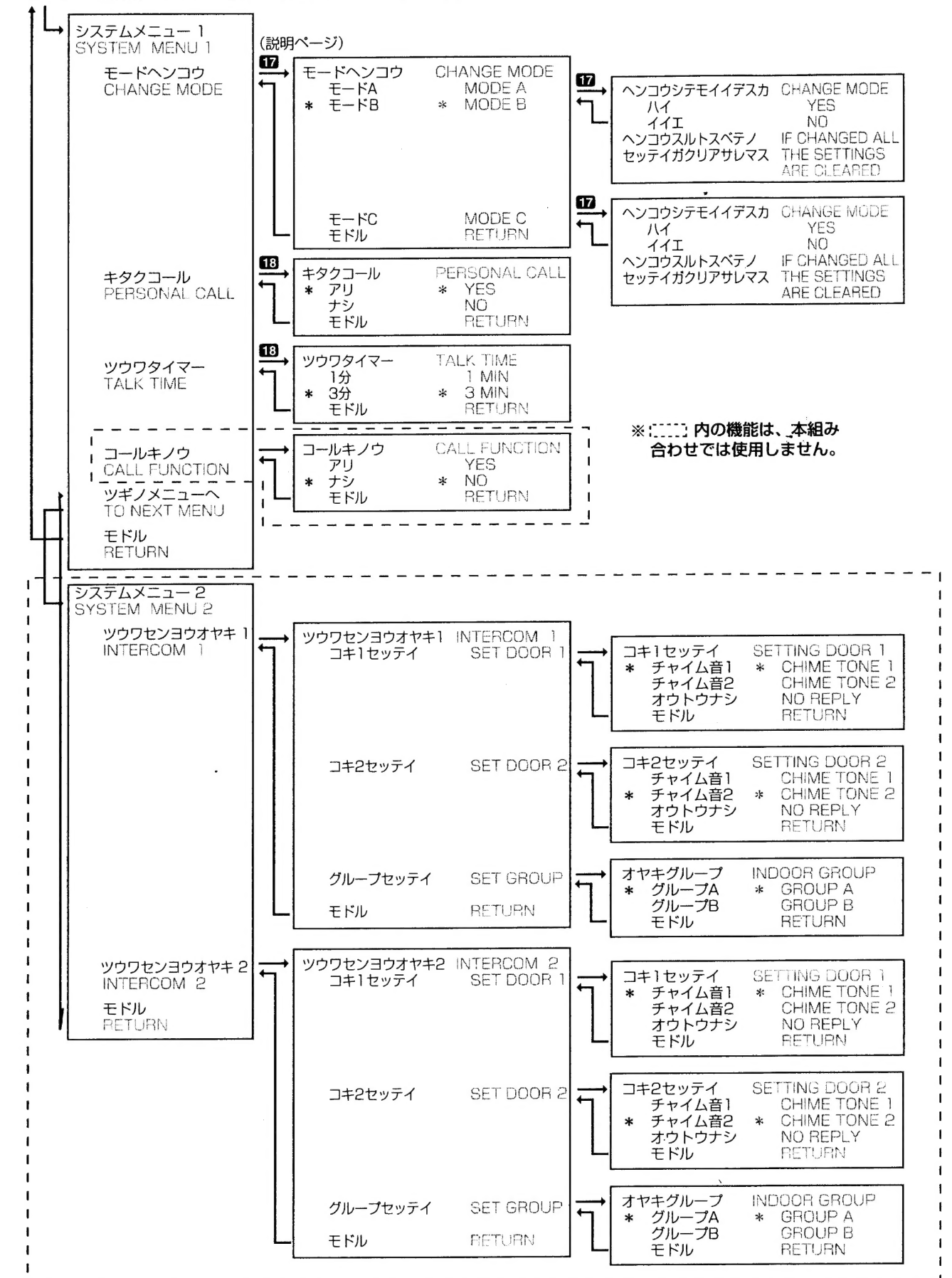
16（説明ページ）

- ＊はお買い上げ時の設定位置を示します。
- 英語はバイリンガルでENGLISHを選択時のメニュー画面を示します。
  （英語表示の時は、日本語は表示されません）
- 枠内はメニュー画面を示します。
- 矢印はメニューの流れを示します。

※ 内の機能は、本組み合わせでは使用しません。

16：白抜きの数字は説明ページを示します。

モニター親機専用メニュー［モードBメニュー（2/2）］へ

■［モードBメニュー（2/2）］モニター親機専用

モニター親機メニュー［モードBメニュー（1/2）］へ

16：白抜きの数字は説明ページを示します。

■［モードCメニュー（1/2）］モニター親機・増設用モニター親機共通

- ＊はお買い上げ時の設定位置を示します。
- 英語はバイリンガルでENGLISHを選択時のメニュー画面を示します。（英語表示の時は、日本語は表示されません）
- 枠内はメニュー画面を示します。
- 矢印はメニューの流れを示します。

モードCメニュー
MODE C MENU
＊ ルスセッテイ ナシ / ＊ ABSENCE NO
アリ / YES
＊ コキヨビ音 アリ / ＊ DOOR CALL YES
ナシ / NO
ツギノメニューへ / TO NEXT MENU
終了 / CLOSE

(説明ページ)

コベツメニュー1
SETTING MENU 1

コキ1セッテイ / SET DOOR 1 → 16
コキ1セッテイ SETTING DOOR 1
＊ チャイム音1 ＊ CHIME TONE 1
チャイム音2 CHIME TONE 2
オウトウナシ NO REPLY
チャイム音確認 CONFIRM TONE → 16
モドル RETURN

チャイム音確認 CONFIRM TONE
チャイム音1 CHIME 1
チャイム音2 CHIME 2
モドル RETURN

コキ2セッテイ / SET DOOR 2 → 16
コキ2セッテイ SETTING DOOR 2
チャイム音1 CHIME TONE 1
＊ チャイム音2 ＊ CHIME TONE 2
オウトウナシ NO REPLY
チャイム音確認 CONFIRM TONE → 16
モドル RETURN

チャイム音確認 CONFIRM TONE
チャイム音1 CHIME 1
チャイム音2 CHIME 2
モドル RETURN

オヤキセッテイ / SET INDOOR → 20
オヤキセッテイ INDOOR
＊ オウトウ アリ ＊ REPLY YES
ナシ NO
グループセッテイ SET GROUP → 19
コベツセッテイ SET EACH → 20
モドル RETURN

オヤキグループ INDOOR GROUP
＊ グループA ＊ GROUP A
グループB GROUP B
モドル RETURN

オヤキコベツセッテイ SET INDOOR
＊ 1 ＊ 1
2 2
3 3
4 4
5 5
モドル RETURN

シツナイヨビ / CALL INDOOR → 16
シツナイヨビ CALL INDOOR
＊ オンセイヨビ1 ＊ VOICE CALL 1
オンセイヨビ2 VOICE CALL 2
ヨビダシ音 CALL TONE
モドル RETURN

ツギノメニューへ / TO NEXT MENU
モドル / RETURN

コベツメニュー2
SETTING MENU 2

バイリンガル → 17
BILINGUAL BILINGUAL
＊ JAPANESE ＊ JAPANESE
ENGLISH ENGLISH
RETURN RETURN

BILINGUAL / BILINGUAL → 17
BILINGUAL BILINGUAL
＊ JAPANESE ＊ JAPANESE
ENGLISH ENGLISH
RETURN RETURN

コール音セッテイ / SET CALL TONE
コール音セッテイ SET CALL TONE
＊ アリ ＊ YES
ナシ NO
モドル RETURN

ツギノメニューへ / TO NEXT MENU
モドル / RETURN

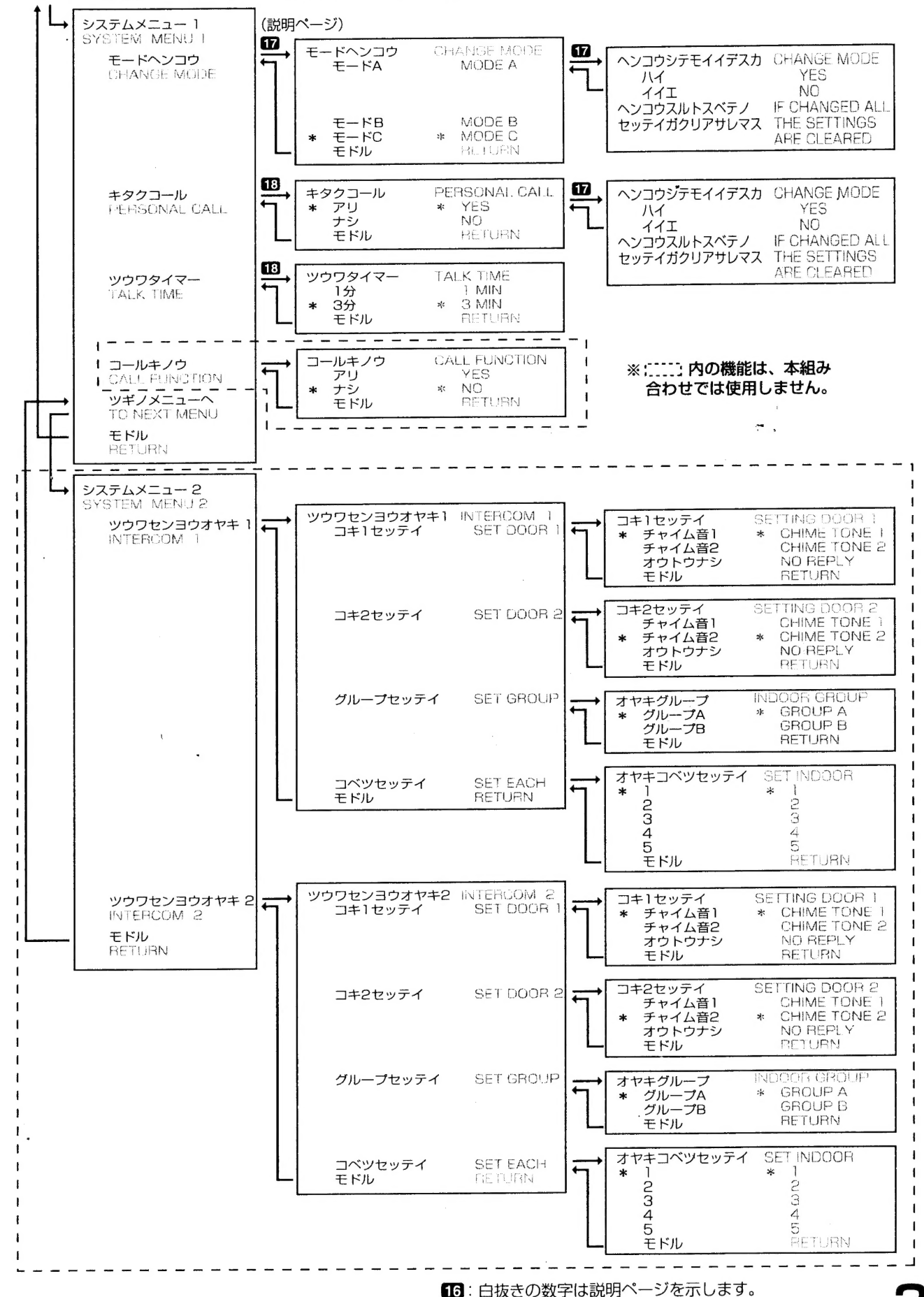
→モニター親機専用メニュー［モードCメニュー（2/2）］へ

※[点線枠] 内の機能は、本組み合わせでは使用しません。

16：白抜きの数字は説明ページを示します。

■［モードCメニュー（2/2）］モニター親機専用

モニター親機メニュー［モードCメニュー（1/2）］へ

16：白抜きの数字は説明ページを示します。

13. 知っていると便利な表示

■通話ランプの表示

待機時(通電時) ・・・・・・・・・・・・・・ 赤点灯
モニター時 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 赤点灯(使用中)
ドアホン子機からの呼出時 ・・・・ 緑点滅(音声応答"入")
赤点滅(音声応答"切")
通話時 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 赤点灯(送話時)
橙点灯(受話時)

室内呼出時 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 赤点滅
他の親機が通話中時 ・・・・・・・・・・ 赤点灯
非通電時緑点灯 ・・・・・・・・・・・・・・ 消灯

■画面表示(画面内の表示)

1 ・・・・・・・・・ ドアホン子機1からの呼出しの時(点滅)または、ドアホン子機1と通話中の時(点灯)
2 ・・・・・・・・・ ドアホン子機2からの呼出しの時(点滅)または、ドアホン子機2と通話中の時(点灯)
R ・・・・・・・・・ 他の親機からの呼出の時(点滅)または、他の親機と通話中の時(点灯)
BUSY ・・・・ 他の親機が使用中の時。BUSYが消えるまで使用できません。

■映像時間一覧

(親機には、ブラウン管の長時間動作を避けるためにタイマーが内蔵されています。)

ドアホン子機から呼ばれて、通話ボタンを押さない時 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 約 30秒
ドアホン子機から呼ばれて、通話ボタンを押した時 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 約 1分/3分
外の様子を見るためにモニターボタンを押した時 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 約 30秒
他の親機から呼ばれて、通話ボタンを押さない時 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 約 30秒
他の親機から呼ばれて、通話ボタンを押した時 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 約 3分
メニュー画面を開いてから閉じる操作をしない時 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 約 3分

14. 故障かな?と考える前に

正常に動作しない場合は、下表により点検してみてください。それでも具合が悪い場合はご自分で修理なさらず、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

①形名:VK-M70　②症状:できるだけ詳しく　③道順:近所の目印も

症　状	点検項目
動作しない	● セットメニューは正しくセットされていますか ● 停電していませんか ● 電源ブレーカーが「切」になっていませんか ● モニター親機、増設親機の電源プラグまたは、電源結線が外れていませんか
動作しない (配線異常表示が画面上にでる) ※別冊の取付説明書も合わせてご覧ください。	● モニター親機、ドアホン子機間の配線コードの結線が外れていませんか ● モニター親機、ドアホン子機間の配線コードがショートしていませんか ● モニター親機、増設親機間の配線コードがショートまたは誤接していませんか ● 画面上の表示に従って点検してください
映像がはっきりしない	● 明るさ調整は適正ですか ● モニター画面、カメラレンズ面が汚れていませんか ● 背景に太陽光や、外灯などの強い光源がありませんか
呼出音が小さい	● 呼出音スイッチが「小」になっていませんか
通話ができない	● 通話ボタンを押しましたか
通話が途切れたり雑音が入る	● 近くにテレビ、ラジオ、電子レンジなど電磁波や磁気を発生する機器がありませんか
映像がゆがむ(文字がかける)	● 近くにテレビ、ラジオ、電子レンジなど電磁波や磁気を発生する機器がありませんか
モニター画面に白い線が入る	● 太陽光などの強い光が、直接、カメラレンズに当たっていませんか

15. 仕様

■モニター親機　VK-M70H

形　状	:壁掛形(付属の壁掛金具を使用)
寸　法	:215.5(高)×150(幅)×59.5(奥)mm
質　量	:約1.2kg
電　源	:AC100V±10V　50/60Hz
消費電力	:待機時　5.5W以下 :動作時　19W
通話方式	:音声交互自動通話(ハンズフリー)
チャイム音	:チャイム音1 2点打チャイム音×2回 チャイム音2 2点打トレモロチャイム音×2回
ディスプレー	:4形扁平CRT
タイマー	:ドアホン子機被呼出時　30秒 :ドアホン子機モニター時　30秒 :ドアホン子機通話時　1分/3分 :室内呼出時　30秒 :室内通話時　3分
使用周囲温度	:−5℃〜+40℃
材質・色調	:樹脂、白

■増設モニター親機　VK-M70PP

形　状	:壁掛形(付属の壁掛金具を使用)
寸　法	:215.5(高)×150(幅)×59.5(奥)mm
質　量	:約1.2kg
電　源	:AC100V±10V　50/60Hz
消費電力	:待機時　4W以下 動作時　11W
通話方式	:音声交互自動通話(ハンズフリー)
チャイム音	:モニター親機の仕様による
ディスプレー	:4形扁平CRT
タイマー	:モニター親機の仕様による。
使用周囲温度	:−5℃〜+40℃
材質・色調	:樹脂、白

■カメラ付玄関子機　VK-M70K

形　状	:壁直付形(JIS1個用スイッチボックスに適合)
寸　法	:130(高)×98(幅)×35.5(奥)mm
質　量	:約240g
線路電圧	:動作時　約10.2V(子機受端にて)
消費電流	:動作時　約270mA
通話方式	:拡声同時通話方式
照　明	:近赤外発光ダイオード×130個
カメラ	:1/4インチ25万画素 インターライン型CCDカメラ
使用周囲温度	:−10℃〜+50℃
材質・色調	:樹脂、ダークブラウン

■寸　法